

第 191 回 CERN 理事会メモ

2018 年 12 月 14 日（金）公開理事会 CERN 503-1-001 Council Chamber（項目 1 - 1 0）
及び Main Auditorium（項目 1 1）

日本からの参加者：千々岩（Geneva 代表部）、岡田（KEK）、野村（KEK）

アジェンダ：<https://indico.cern.ch/event/774970/>

日本はオブザーバーとして公開理事会に参加した。初めに Sijbrand de Jong 理事会議長（理事長）より、日本などのオブザーバーの紹介があった。

項目 1 189 回公開理事会議事録の承認

提案通り承認された。

項目 2 アジェンダの承認

項目 3 と項目 4 の順序を変えることで、アジェンダは承認された。

項目 4 Finance Committee 議長の報告

Finance Committee 議長の O. Malmberg 氏より 9 月 26 日及び 12 月 12 日に開催された財政委員会に基づき報告がなされた。今年のメンバー及びアソシエートメンバーからの支払いについては、年末までに全額達成することができると報告され、財政面で特段の問題は指摘されなかった。

項目 3 制限理事会、非公開理事会報告

理事長より最近の制限理事会、非公開理事会の議事について報告があった。最近進めてきた CERN の地域的拡大の方針については 2019 年の夏までに再検討をすること、2019 年 1 月より理事会理事長が U. Bassler 氏と交代すること、副理事長の選任、各種委員会の委員の交代について報告された。また、セルビアがメンバー国、クロアチアがアソシエートメンバー国となることが報告された。

項目 5 Science Policy Committee (SPC) 議長の報告

SPC 議長の K. Ellis 氏より、SPC のメンバー交代及び、SPC の議論について報告がなされた。相原博昭東大教授が SPC の新メンバーと選任された。CERN の将来計画として検討されている様々なコライダーのオプション、ILC および中国で検討されている CEPC について紹介された。

項目 6 素粒子物理の欧州戦略アップデートの組織に関する進捗状況報告

European Strategy Group 議長の H. Abramowicz 氏より、欧州戦略アップデートの組織とスケジュールについて報告がなされた。

項目 7 SCOAP³ の成果と計画

S. Mele 氏により、CERN が主導する素粒子物理分野の学術論文の Open Access の枠組みである SCOAP³ について、これまでの成果と 2020-2022 年の第 3 期計画について紹介された。Finance Committee 議長がコメントと求められ、Finance Committee で計画は了解されたことを報告した。

項目 8 2020 年理事会及び委員会日程

2020 年理事会及び委員会に日程が示され承認された。

項目 9 Confirmation of Access Status of Documents of the Session

特に問題はなく確認された。

項目 10 その他

特になかった。

最後に、現理事長が退任の挨拶を行い、新理事長 U. Bassler 氏が紹介された。

項目 11 若手研究者による講演

11:00 より Main Auditorium に場所を移し、“End-of-year LHC Jamboree”として、5名の若手研究者による講演会が開催された。それぞれが、加速器、ALICE、ATLAS と LHCf、CMS と TOTEM、LHCb と MoEDAL について講演し、質疑応答が行われた。13:00 前に終了した。

文責：岡田